

近世文化遺産の宝庫

[たかおかナビ]

高岡NAVI

高岡NAVI

[たかおかナビ]

June. 13, 2008

発行 世界文化遺産をめざす高岡市民の会(事務局・高岡商工会議所内)

企画・編集・制作 北日本新聞社



いま高岡は
世界文化遺産をめざしている





Takaoka

高岡トピックス

いま高岡が注目を集めています。
県と高岡市が世界文化遺産候補として提案した
「近世高岡の文化遺産群」は、
現在、文化庁文化審議会世界遺産特別委員会による
選定作業が本格化しています。
世界遺産といえば、人類共通の宝物。
開町以来400年近く守られてきた
高岡の宝が世界の宝となる日に向けて、
実際ののくらいグレートなのか、富山県民なら
その目で見えておく必要は大いにありそう。
ここでは、「近世高岡の文化遺産群」を中心に、
意外と知られていない高岡のトピックスや、
実際にその場に行って確かめたいくなる
ネタを集めてみました。知らなくてもいいけど、
知ってたらもっと面白くなる、かもです。



Topics 1

古城公園は兼六園より
大きいって知ってますか？

高岡市民のオアシス、高岡古城公園は、高岡開町の祖・前田利長が築いた高岡城の城跡。広大な園内をくまなく歩こうと思うと結構な時間がかかる。それもそのはず面積は約210,000平方メートル。これは日本三大庭園の一つ、兼六園の約2倍、富山城址公園の3倍以上もあるのだ。

ひろーい園内には、動物園や博物館、体育館など数多くの施設があり、高岡市民ならずとも、一度は足を運んだことがあるという人は多いだろう。池の端濠そばにある小道など、人通りもまばらなわき道は、大人のデートや昼寝スポットとしてもおすすめです。

◎本丸広場



芝生で覆われた広場。たまには思い切り駆け回るのもいいかも。周りには著名な彫刻家の作品がずらり。

◎本丸橋



池の端濠から公園を見た光景。堀に架かる本丸橋を渡るのもつばら地元の。

◎脇道



池の端濠(西外堀)のすぐそばを通る脇道。ベンチに腰掛けてのんびりしよう。

◎駐春橋



南外堀に架かる朱塗りの橋。市民会館に車を止めたら、この橋を歩いて園外に出る。



◎射水神社

ご存知、うつくしの社。公園デートで結ばれたカップルなら、ここでハレの日を迎えてみては。



日本さくらの会が選定した「日本のさくら名所100選」にも選ばれた名園。園内にはソメイヨシノを中心に、コシノヒガンザクラ、エドヒガンなど20数種類、約2,700本の桜が花を咲かす。公園を取り囲むお堀に映える桜はひととき美しく、周辺の路上からもその姿を愛でることができる。

◎相撲場



射水神社のすぐそば。力士ががっぷり四つに組んだ銅像も目を引きます。

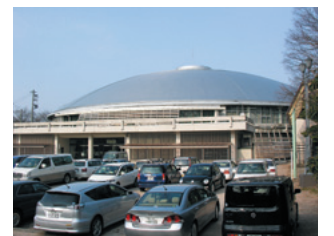


◎動物園

無料で楽しめる動物園。サル、チンパンジー、ペンギンなど約50種類の動物たちがストレスを吹飛ばしてくれる。巨大なアヒルの滑り台にも目を奪われます。

◎高岡市民体育館

かつては山口百恵やピンクレディーらビッグアイドルのコンサートが開かれたことも。



Topics 2

高岡には
ビッグなものがいっぱい。
高さを比べてみたら…。

世界遺産候補地をはじめ、高岡の名所にはビッグなものがめじろ押し。そこで高さを比較してみました。比べてみると…、ほーら、実際に見たくなってきたでしょ。



勝興寺のデカローソク
3.1m

毎年1月御正忌報恩講(御満座法要)では参拝者がこの前で手を合わせ、浄土真宗の開祖、親鸞聖人の遺徳をしのびます。



前田利長墓所
約12m

うっそうと茂る木の中にあるこちら、武将の墓としてはトップクラスの高さを誇る。広さも約150,000平方メートルもあった。



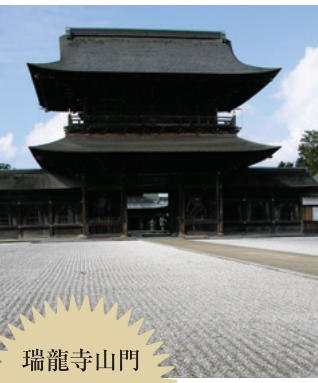
前田利長墓所の灯籠
6.2m

「こんな大きな灯籠初めて見た」って感嘆の声を漏らす人も多いはず。手前の灯籠と比較してください。



勝興寺本堂
約24m

ローソクもでかいが、本堂も巨大。なんでも京都の西本願寺の阿彌陀堂を模して造られたそう。



瑞龍寺山門
約17m

思わず見上げたくなるスケール。その大きさに、門の左右でにらみをきかせている金剛力士像も小さく見えてしまうのだ。



高岡古城公園動物園の絵筆塔
3.0m

154人の漫画家の「かつば絵」を集めたビッグな塔。日本を代表する漫画家の絵もあり、ファンは必見。



御車山
8.4m

車輪をききませながら引き回される絢爛豪華な山車。7基が勢ぞろいした光景は圧巻です。

高岡大仏
15.85m

利長公と双壁をなす高岡のスーパーヒーロー。台座を除いた高さ(座高?)は7.43メートル。



高岡古城公園の前田利長公銅像
4.33m

高岡古城公園の本丸広場を見下ろすところからいらっやいます。兜もビッグだけど、愛馬もかなりデカイ。さすが高岡開町の祖。



ショップまじま10段ソフト
30cm

県内にその名が知られる「10段ソフト」。真っ直ぐ持ってお辞儀をするように食べるのがコツです。





本名:利長(としなが)くん
 出身地:高岡市 誕生日:平成19年9月13日 身長:2m20cm 体重:65kg
 好きなもの:高岡、子供の笑顔 苦手なもの:暗い所、高い所、暑い所、天井の低い所
 人前に出られるのは夏は30分、冬は40分が限度

Topics 7 日によって身長と 体重が変わる利長くん

高岡は慶長14(1609)年9月13日、前田利長が高岡城(現高岡古城公園)に入城して歴史が始まり、平成21年9月に400年を迎える。高岡市には記念イベント実行委員会が作られ、多彩な事業を計画している。それを盛り上げるのがマスコットキャラクターの「利長くん」。銀なまず尾形の長いかぶとがトレードマークのちよいゆるキャラだけあって、なんと日によって身長と体重が変わるおちゃめなやつ。本物に会いたい人はホームページでお出かけスケジュールをチェックしよう。
<http://takaoka400th.com/>

私が高岡城を設計した高山右近。りりしい顔立ちは利長公にも負けてないよ。あなたはどの銅像がお気に入りかな？



高山右近
(高岡古城公園)



前田利長
(八丁道)



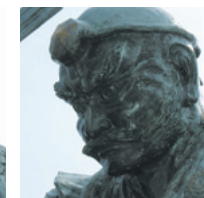
前田利長
(高岡古城公園)



利長の馬
(高岡古城公園)



源義経
(如意の渡し)



弁慶
(如意の渡し)



大伴家持
(JR高岡駅前)



高峰讓吉
(高峰公園)



ぎんぎんぎらぎら
(北陸銀行高岡支店前)



弥栄節を踊る人
(金屋緑地公園)

Topics 5 高岡銅像コレクション

さすが銅器の町・高岡。市内にはあちこちに銅像がいっぱい。超メジャーな歴史上の人物から、無名の踊り手(?)まで、街で見掛けた気になる銅像を集めてみました。どこにあるのか一目で分かるあなたは相当な高岡通？



Topics 6 高岡大仏と鎌倉大仏 どっちが美男？

日本三大仏のナンバー2・鎌倉大仏とナンバー3・高岡大仏(ナンバー1は言わずと知れた奈良大仏)。「鎌倉や御仏なれど釈迦牟尼は美男におわす夏木立かな」と詠んだ情熱の歌人の与謝野晶子は、高岡大仏を見て「鎌倉の大仏さまより一段の美男」と感嘆したとか。昨年、「平成の大修理」を終えた高岡大仏は、顔立ちが若々しくなって、ますます「男前度」がアップしたとの声も。さて、みなさんはどっちが「イケメン」だと思いますか？



鎌倉大仏

私が大仏界ナンバー2。イケメン度でも高岡大仏に負けませんよ。

青空をバックに暗れ晴れとした表情を見せる高岡大仏。平成の大修理で、男前度はライバル鎌倉大仏を大きくリード(?)。



高岡大仏

こちらは台座下にある明治時代の木造大仏の仏頭。あまりのインパクトに子どもも大人も一瞬かたまります。



通町
鉾留:鳥兜(とりかぶと)



Topics 8

写真の山車は
何町のものか分かりますか?



5月1日の高岡御車山祭で引き回される7基の御車山は、前田利長が高岡城を築城したときに、父の利家が豊臣秀吉から譲り受けた御車を町民に与えたもの。通、御馬出、守山、木舟、小馬出、一番街通、二番の山町が所有していて、それぞれに特徴がある。区別するには、中央にそびえる心柱先端の鉾留ほこどめに注目するのがコツ。高岡の名工の技が凝縮された町衆文化の象徴、どこの町の山車か知っていて損はないです。(国指定重要有形無形民族文化財)



木舟町 鉾留:胡蝶(こちょう)



御馬出町 鉾留:胡(やな)ぐいに弓矢



守山町 鉾留:五鈴鈴(ごこれい)



一番街通 鉾留:釣鐘



二番町 鉾留:桐



小馬出町 鉾留:太鼓に鶏



Topics 9

金屋町の御印祭へ レッツゴー



高岡鋳物発祥の地、金屋町。千本格子の町家と石畳が続く通りは、映画「8月のクリスマス」をはじめ、数々の映画・テレビドラマの舞台としても登場している。中でも注目は6月19、20日に行われる「御印祭」だ。

「御印祭」は、鋳物産業の保護、発展に尽くした前田利長の遺徳をしのぶ祭り。19日の前夜祭には、鋳物作業歌「弥栄節」に合わせた踊りの町流しが行われ、千本格子の町家が連なる石畳通りを彩る。「エンヤシャヤッシャイ」の掛け声に合わせ、法被姿の男性は竹の杖を片手に勇壮に、着物姿の女性は手ぬぐいを手に優雅に踊り、大勢の見物客を楽しませてくれる。

千保川に面した金屋緑地公園をはじめ、おしゃれなカフェやパティスリーもあり、デートするにも◎。400年前から息づく伝統と文化を肌で感じつつ、のんびり散策してみよう。



Topics 10

山町筋を歩いて古き良き 高岡にタイムスリップ

土蔵造りの町並みが残り、商都・高岡の繁栄を今に伝える高岡市山町筋。そこを歩けば、いつしか古き良き高岡にタイムスリップしたような気分になってくる。



山町筋とは、前田利長が御車山を与えた「山町」のうち、旧北陸道に面する同市御馬出町、守山町、木舟町、小馬出町にまたがる区間。そこに1900（明治33）年の大火をきっかけに造られた防火構造の土蔵造りの家屋や商店などが集まっている。2000（平成12）年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された貴重な場所なのだ。

重厚かつ、モダンな西洋のテイストも取り入れた土蔵造りをはじめ、レンガ造りの銀行や、洋風の町家が並ぶ通りからは明治・大正ロマンの薫りがプンプン。今どきめったに見か

菅野家住宅
山町筋の象徴的存在がこの菅野家住宅。黒漆喰を塗った壁面や、二階の観音開きの扉など高岡の土蔵造りの特徴をすべて備えている。国指定重要文化財。



富山銀行本店
高岡共立銀行本店として1914（大正3）年に建設。「赤レンガの銀行」と親しまれている。設計を監修したのは、東京駅を設計した辰野金吾。

山町筋では、山町の各家などで受け継がれてきた由緒あるひな人形が、土蔵造りの民家や商店に飾られる「山町筋のひなまつり」をはじめ、「天神様祭り」、「高岡山町筋土蔵造りフェスタ」など、歴史と伝統を感じさせるイベントも行われている。

レトロな高岡を体感したいなら、ぜひおたずねを。



城下町の遺産群

	マップNo.
高岡城跡(県指定史跡)	1
武田家住宅(国指定重要文化財)	12
気多神社本殿(国指定重要文化財)	11
有儀正八幡宮(国登録有形文化財)	25
木舟城跡(県指定史跡)	26
高岡関野神社(国指定候補の文化財)	20
守山城跡(国指定候補の文化財)	13

宗教関係の遺産群

	マップNo.
勝興寺(国指定重要文化財)	9
瑞龍寺(国宝・国指定重要文化財)	4
前田利長墓所(県指定史跡)	7
瑞龍寺の石廟(県指定史跡)	5
瑞龍寺境内地(市指定史跡)	6
八丁道(国指定候補の文化財)	8
勝興寺境内地(国指定候補の文化財)	10
五福町神明本殿(市有形文化財)	21
大手町神明社拝殿(市有形文化財)	3

商工業都市の遺産群

	マップNo.
山町筋(国選定重要伝統的建造物群)	14
菅野家住宅(国指定重要文化財)	15
井波屋仏壇店(国登録有形文化財)	19
筏井家住宅(県指定有形文化財)	16
旧室崎家住宅(市指定有形文化財)	17
佐野家住宅(主屋)(国登録有形文化財)	18
清都酒造場主屋(国登録有形文化財)	22
金屋町(国指定候補の文化財)	23
旧南部鑄造所(キューポラ・煙突)(国登録有形文化財)	24
銅造阿弥陀如来坐像(市指定有形文化財)	2

◎高岡の文化遺産リスト

主な世界遺産(文化遺産)を見てみよう

〈国内〉

法隆寺地域の仏教建造物
姫路城
古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)
白川郷・五箇山の合掌造り集落
原爆ドーム
厳島神社
古都奈良の文化財
日光の社寺
琉球王国のグスク及び関連遺産群
紀伊山地の霊場と参詣道
石見銀山遺跡とその文化的景観

〈海外〉

「ザルツブルグ市街の歴史遺産」(オーストリア)
宗教都市であり城郭も備えた町。
「コルドバ歴史地区」(スペイン)
イスラム教・キリスト教・ユダヤ教の3つの文化で成立している。
「イスタンブール歴史地区」(トルコ)
モスクと宮殿のあるのが特徴。



高岡はひとつの都市が近世の比較的短い期間で、
城下町から宗教的要素を取り入れながら
商工業都市へと転換する世界的にも珍しい例と言える。



めざせ世界遺産 高岡の宝を 世界の宝に

遺産群は高岡の歴史を物語る高岡城跡(高岡古城公園)や国宝瑞龍寺、国重要文化財勝興寺、前田利長墓所、山町筋、金屋町の基本資産6カ所と木舟城跡や守山城跡、八丁道、高岡大仏など関連資産16カ所の計22カ所で構成する。城下町から商工業都市へ発展する近世都市の遺産が良好に保存されていることが他の候補にない特徴と言える。

世界文化遺産とは？

過去から伝え引き継いできた世界的な価値のある遺産を人類全体のため、国際的な協力で保護・保全し、未来へ受け継いでいこうというもの。1972年にユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」の世界遺産一覧表に記載されたものを世界遺産という。

富山県と高岡市が最初に文化庁に「近世高岡の文化遺産群」を提案したのは、平成18年11月30日。19年1月の審査会で継続審議となった後、19年12月に再提出するまで、県と市は専門家の意見を聞きながら検討を重ねてきた。練り直した文化遺産群の提案書によると、高岡は加賀藩2代藩主前田利長が慶長14(1609)年に築いた高岡城(現高岡古城公園)の城下町として開かれ、発展。利長が亡くなり、築城6年で廃城となつた後は瑞龍寺や勝興寺など宗教色が強くなり、さらに商業の町・山町筋や鑄物の町・金屋町に代表されるように町民たちの力によって商工業都市に生まれ変わった。



高岡城跡(高岡古城公園)

マップNo. 1

利長の夢に想いをはせる 市民の憩いの杜

高岡市のほぼ中央に1609年(慶長14年)、加賀藩二代藩主・前田利長によって高岡城は築かれた。設計は城造りで高名なキリシタン大名・高山右近。しかし、利長が没した1614年(慶長19年)の翌年、江戸幕府の二国一城令によって高岡城は廃城に。城は本丸、二の丸、三の丸、明き丸、鍛冶丸という南北に長い3つの曲輪(くわ)で築かれ、内堀と外堀でつながれる大規模なもので、築城当初の姿をよく残している。

その後、1875年(明治8年)に高岡古城公園として生まれかわり、人々の憩いの場として親しまれている。約21万平方メートルを超える敷地のうち3割が堀となっており、全国でも屈指の水濠公園で、季節ごとに美しい景色を水面に映している。また石垣や土塁、堀などの一部は昔のままのおもむきを残しており、築城当時の息づかいが聞こえてきそう。

公園内には、動物園や体育館の他、射水神社などがあり、春には桜、夏は生い茂る緑、秋は紅葉、冬は雪景色や椿など、四季折々に鮮やかな彩りを見せてくれる。日本100名城をはじめ、日本の都市公園100選、日本の歴史公園100選、さくら名所100選、魅る水100選などにも選ばれた名園。散策にはびつたりのエリアだ。

高岡古城公園 / 高岡市古城1-6 ●0766-20-1563 ●無料
●JR高岡駅から徒歩約10分 ●能越自動車道高岡ICから約10分



②高山右近銅像
前田家から庇護をうけ高岡城の設計にも関わったキリシタン大名。



①前田利長銅像
公園指定100周年を記念し、昭和50年に建立された。



⑦大手口
城への正面入り口ともいえる大手口。設計を行ったとされる高山右近の像が立つ。



⑥芸術の森
昭和54年の開町370年、市政施行90周年を記念し、開設された。日本の代表的な彫刻家の作品を、高岡銅器の技術の粋を集めて鑄造した18点が並ぶ。



⑤「夕日」の曲碑
木舟町出身の作曲家・室崎琴月の曲碑。「ざんざんざらざら夕日が沈む」の歌詞と楽譜が記されている。公園内にはこのほか、与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑なども建っている。



④小竹藪
北陸特有の種とされるコシノヒガンザクラが春に咲き誇り、花見客でにぎわう。

③中の島

明治40年に造成された人口島。公園指定に奔走した服部嘉十郎の顕彰碑が建っている。



堀を掘った土で設けられた土塁は、いまだにその姿を残している



射水神社

古城の杜に鎮座する
いにしえから高岡を護る古社

高岡古城公園の中心に鎮座する、射水神社。もともとは養老年間(714〜723年)二上山に養老寺を建立したことに始まりとされ、越中で唯一名神大社に選ばれている由緒正しい神社。日本書紀にも記されている、とても歴史の



二の丸一本丸間の土橋の両側に現存する石垣

古い社である。中世末期、兵火によって衰退してしまいが、加賀藩初代藩主・利家が社殿を修復するなどして保護し、前田家代々の崇敬は厚かった。
1875年(明治8年)に今の場所に移されるにもなつて、二上山の旧地には分社が創立されている。
祭神は「二上山」とも呼ばれる天照大神の御孫神様。五穀豊穰、商売繁盛の神様として、人々からあがめられ尊ばれてきた。
古くから高岡を代表する神社の一つなので、古城公園を訪れたなら、ぜひ参詣したいもの。



射水神社 / 高岡市古城1-1
●0766-22-0808 (高岡古城公園内)



⑨朝陽橋
朱塗りの橋と周囲の景観のコントラストが美しい朝陽橋。多くの人がここで写真を撮る。かつてはこの場所に、いざという時のみにかけるせり出し式の橋があったとの説もある。



⑧朝陽の滝
高岡市の上水道通水記念として昭和6年に完成したが、一時断水状態になっていた。同52年、滝の浄化にも役立てようと、堀の循環による滝として復元した。



⑪枳形濠
堀の中でも唯一の清らかさから、塵不溜との別名を持っていた。水鳥の姿が心を和ませる。



⑩民部の井戸
石垣や堀同様、城があったころをしのぶ貴重な遺構。城内には数カ所に井戸が掘ってあったと考えられる。深さ8メートルに及ぶ。

銅造阿彌陀如来坐像 (高岡大仏)

全国に誇る高岡の 鑄物技術を象徴する大仏様

高岡古城公園のすぐ近く、
大手町の大仏寺に鎮座す
る阿彌陀如来坐像は、高岡
の大仏さんとして市民に愛
され親しまれている。

地上からの総高は15・85
メートル、座高が7・43メー
トル、円光背4・54メートル、
総重量が65トン。
はじめは木造で高さ10メ
ートルの金色大仏だったが、
1821年(文政4年)に焼
失。再建された大仏も、19
00年(明治33年)の高岡大
火で類焼してしまう。

高岡の信徒はもう同じこ
とが起こらないようにと願



高岡銅器の技術を結集してつくられた
高岡大仏。台座の中には、かつて末広
町にあった「七本杉」の古材に描かれ
た仏画が飾られている。



高岡大仏 / 高岡市大手町11-29 ●無料 ●無休
☎0766-23-9156
●JR高岡駅から徒歩約10分
●能越自動車道高岡ICから約10分

ウイング・ウイング高岡

JR高岡駅のすぐ目の前、高岡の交通の
拠点に建つ12階建てのビル。ビル内には生
涯学習センターや高岡市立中央図書館、男
女平等推進センター、県立志貴野高校をは
じめ、オフィスやホテル、飲食店などを併設
している。



ウイング・ウイング高岡 ●JR高岡駅から徒歩約2分
●能越自動車道高岡ICから約10分

大手町 神明社 拝殿

マップNo.
3

もとは前田利長の
御廟守として建てられ
た寺院の鎮守堂 拝殿
だった。

様式は入母屋造平
入の棧瓦葺木造建造
物である。江戸時代初
期の建築で、大きさは
正面約5・4メートル、
側面1・8メートル。



大手町神明社 / 高岡市大手町8-14 ●JR高岡駅から徒歩約10分
●能越自動車道高岡ICから約10分

国宝 高岡山

瑞龍寺

マップNo. 4

莊嚴優美な国宝 前田利長の菩提寺

加賀藩3代藩主前田利常が兄の利長の菩提を弔うために建立した、曹洞宗の古刹。境内にある10棟の建造物は左右対称の美しい伽藍配置になっていて、江戸初期の典型的な禅宗伽藍の形式、構造を良く残している。

棟梁は加賀藩の名工・山上善右衛門嘉廣。1645年(正保2年)に着工し、利長公の50回忌にあたる1663年(寛文3年)に完成という20年にわたる大事業だった。

仏殿の屋根は鉛の瓦になつていて、鉛の総重量はなんと47トン。鉛の屋根は金沢城とこの瑞龍寺の仏殿で見ることができず、青空に映える鉛瓦の白がとても美しい。また仏殿の後方、利長公の位牌が安置されているのが法堂。その天井の百花園は狩野安信によるもので、これも時間をかけた見どころの一つ。山門は1746年(延享3年)に火災の



ために焼失。しかし当時の寺院関係者や高岡町民の熱心な嘆願が実り、山上善右衛門嘉廣の子孫、山上善右衛門吉順が当時の設計図を基に、1818年(文政元年)に復元したと伝えられている。

これら仏殿・法堂・山門の3棟は、全国の近世社寺を代表するものとして平成9年に国宝に指定されている。

瑞龍寺/高岡市関本町35 ●0766-25-4479
●9:00~16:30 ●無休 ●大人500円、中学生200円、小学生100円
●JR高岡駅から徒歩約15分 ●能越自動車道高岡ICから約10分

瑞龍寺の裏に 静かにたたずむ5つの石廟

瑞龍寺の石廟

マップNo. 5



瑞龍寺回廊南西部の裏手に、5つの石廟がひっそりと並んでいる。

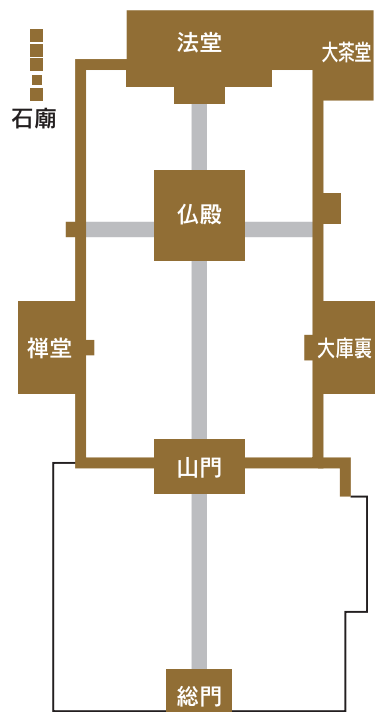
様式は、切妻造りの越前式石廟で、淡緑色の凝灰岩(越前笏谷石)が使われており、石造美術の流れや分布を知る上で、非常に大切な資料だ。

石廟には、前田利長、利家、織田信長に信長夫人、織田信忠(信長の長男)が祀られており、内部には宝篋印塔という仏塔の一種が安置されている。

なかでも利長の石廟は別格で、正面扉の上には、2人



の天女が舞い、向かって右には不動明王、左には毘沙門天が彫られている。外壁には、楽器を持った25体の菩薩が浮彫りになっていて、優美な装飾がほどこされている。



隠元筆の額「瑞龍寺」(法堂)

瑞龍寺境内地

マップNo. 6

加賀百万石の風格あふれる 美しい境内

瑞龍寺創建当初の境内は、二重の堀に囲まれた二辺が約360メートルの正方形で、およそ11万平方メートルにおよぶ広大な敷地だった。境内の北・東・南の三方に堀が巡らされ、周囲にはたくさん塔頭が建てられていたが、明治維新に伴って、前田家の庇護を失い寺地は縮小した。

現在の境内は、当時の内堀に囲まれた区域となっている。およそ2万平方メートルというから、往時の規模はまさに加賀百万石の威勢そのもののスケールだった。



総門 [重要文化財]

加賀百万石の重厚を表現した門で、昭和3年、重要文化財指定。ケヤキの角形の大冠木の上に、腕木を持ち出し、その先端の三斗で桁を持ち送った大型の葉門である。部材も大きく豪快だが、扉の金具は一つひとつ異なる模様がちり出されている。



山門 [国宝]

山門は、入母屋造りの柿葺で伽藍中心部の正門。構造は三間二階二重門で、二重後部には禅宗山門の作法通り、釈迦・十六羅漢像が奉られている。



法堂 [国宝]

法堂と呼ばれる大規模な書院造大方便。前田利長廟として加賀藩から特別に保護されていた。中央の前後二室は加賀藩の威信を示す意匠となっており、通常の禅宗方丈をはるかに超える壮麗、壮観を誇る。前室は金箔に花を描いた格天井とし、後室内陣は後面に三段の大型仏壇が設けられ、中央上部に前田利長の大位牌と荘厳具等が安置されている。三面の壁は、金箔張り。前室と同じ格天井で主に草花が描かれており、絵は幕府奥絵師・狩野安信筆と伝えられている。



仏殿 [国宝]

伽藍の中心を占める仏殿は入母屋造り鉛瓦葺で、鉛屋根の白さが映える荘嚴、端麗な総ケヤキ造り。屋根裏の彫刻および総重量47トンの屋根を支える剛健な構造を特徴としている。この禅宗様中規模仏殿の大工棟梁は、山上善右衛門とされ、仏壇上には釈迦如来座像と脇土の文殊・普賢の二菩薩像が安置されている。



前田利長墓所

マップNo. 7



高岡開町の恩人 利長の遺徳を偲ぶ墓所

瑞龍寺門前からまっすぐ八丁道を歩むと、正面にうつらうつらとした緑につつまれた前田利長公の墓所に到着する。

1646年(正保3年)、利長公の33回忌に、3代藩主利常が兄・利長の遺徳を偲んで建立した。当初の墓域の規模は、なんと5万坪とも伝えられている。絵図によると墓域は二重の堀をめぐるしていたと推測され、大名個人の墓としては他に類をみない大きさで構造を誇る。

太平洋戦争後には、およそ1万平方メートル(現在は約8,000平方メートル)と縮小している。利長の廟は二段構造の方形墳墓で、全面が加賀の戸室石で覆われている。狭間には狩野探幽の下絵と伝えられる蓮華の陽刻が三段にわたって刻まれている。廟の大きさは1辺が約15メートルで、頂部に据えられた石塔ま



前田利長墓所 / 高岡市関73外
●JR高岡駅南口から徒歩約10分
●能越自動車道高岡ICから約10分



での高さは約12メートルにも及ぶ巨大なものである。毎年、9月13日には前田利長公顕彰祭が催され、この日は特別に一般公開されている。

八丁道

マップNo. 8



八丁道 / 高岡市東上関外
●JR高岡駅南口から徒歩約10分
●能越自動車道高岡ICから約10分

風情ある石畳を歩いて 想いをはせる高岡の歴史

八丁道は、前田利長の墓所と瑞龍寺を結ぶために、近世初期につくられた参道。延長がおよそ8町(約870メートル)あることから「八丁道」と呼ばれるようになった。その昔は58基の石灯籠が立ち並び、壮観を誇った。現在でも当時の石灯籠が34基残っており、松の木が道の両脇に並び、往時をしのばせるしつとりと落ち着いた石畳の道路として整備されている。

仙寿山 繁久寺

1646年(正保3年)、加賀藩3代藩主・利常の命で前田利長の廟守供養のために建てられた曹洞宗の寺院。前田利長墓所の道をはさんですぐ南に位置している。

回廊には五百羅漢が並び、さまざまに立ち姿、表情を眺めていると心いやされる。



繁久寺 / 高岡市芳野89
●0766-23-3196
●JR高岡駅南口から徒歩約10分
●能越自動車道高岡ICから約10分

重要文化財 雲龍山 勝興寺

マップNo. 9

近世の浄土真宗の古刹
重厚な風格ただよう城郭寺院



勝興寺／高岡市伏木古国府17-1 ●0766-44-0037
●9:00～16:00 ●無休 ●高校生以上300円(工事協力金)
●JR伏木駅から徒歩約4分 ●能越自動車道高岡北ICから約15分

マップNo. 10

勝興寺境内地



越中国庁跡

奈良時代には政治の中核
その後、宗教の一大拠点へ

約3万平方メートルを誇る広大な境内は、奈良時代に越中の国庁がおかれ、戦国時代には古国府城が置かれていた。そのため周囲には中世城郭寺院のなごりでもある堀と土塁が今も残っている。

また、実ならずの銀杏、水の涸れない池、屋根を支える猿、三葉の松など——好奇心をそそる、七不思議もあり、見どころつぎない名刹だ。

毎年1月14日から16日にかけて行われる御正忌報恩講(御満座法要)には、多くの人が参詣に訪れる。15日には重さ約150キログラムの大きなろうそくが灯され、夜を通して浄土真宗の教義を語り合うことでも有名。

如意の渡し

義経と弁慶の感動伝説が残る
勸進帳のうまれ故郷

小矢部川の河口にある船着き場「如意の渡し」には、義経と武蔵坊弁慶の伝説の一幕をあらわした銅像がある。

そもそも義経一行が奥州へ逃げ落ちる時、この「如意の渡し」で「義経殿ではないか？」と渡守に怪しまれる。さあ、本人であることがばれ、頼朝に知らされては「大事。弁慶は機転を利かし」「加賀白山から連れてきたお坊さんだ。判官(義経)殿と思われるのは心外」と主人の義経を扇でうちのめす。これで疑いをくぐりぬけるが、弁慶が涙を流して義経にわびたという感動のお話。この「如意の渡し」の話をもとに謡曲「安宅」、市川団十郎の弁慶でおなじみの歌舞伎「勸進帳」ができた。



如意の渡し ●0766-44-0509 ●7:00～19:00 ●無休 ●中学生以上200円、子供100円 ●JR伏木駅から徒歩約5分 ●能越自動車道高岡北ICから約15分



マップNo. 11

重要文化財 氣多神社

越中一の宮として
あがめられた
風格ある古社

伏木一宮にある延喜式内社で、大己貴命(おおなむちのみこと)と奴奈加波姫命(ぬなかわひめのみこと)を主祭神とする。

創建は757年(天平宝字元年)に、能登一の宮気多大社から越中一の宮として移し祭ったと伝えられる。県内でも屈指の古い神社だ。建立当時は、境内の周囲にも構造物があったと伝えられているが、寿永年間(1



氣多神社／高岡市伏木一宮1-10-1

182年)の木曾義仲、天文年間(1532～1555年)の上杉謙信の兵火のために2度も焼失し灰となつてしまったという。現在の本殿は、永祿年間(1558～1570年)ごろに再建されたもの。三間社流造りのこけら葺きで、全体的にシンプルな意匠だが、室町時代の特徴がきわだつ雄大な風格と優美な作風がすばらしい。

勝興寺修復事業

高岡の歴史的古刹を未来へ——勝興寺・平成の大修理

勝興寺では現在、本来の姿を取り戻すための大修復事業が行われている。平成10年7月から平成16年9月までの6年3カ月にわたって行われた第1期修理事業では、本堂の屋根

棟梁の瀧川喜右衛門の名が記された部材など、歴史的な新発見もあった。後世に引き継ぐための修理で

あることはもちろん、史実の究明にも期待が集まる。そして今、行われているのが第2期修理事業。(大広間・式台など12棟)平成17年7月から平成30年3月(予定)までという長き

に渡る修復事業で、どのような発見があるのか、修理を終えた勝興寺の威容とともに興味はつきない。



武田家住宅

マップNo. 12

江戸時代の建築様式を 今に残す豪農の大邸宅

高岡市の北部、雨晴海岸近くでうっそうと生い茂った屋敷林に囲まれた広大な敷地に建つ豪農の屋敷。武田家は甲斐の武将・武田信玄の弟、逍遙軒信綱の子孫といわれる旧家で、江戸期には代々「肝煎(きもいり)」―村役人を務めてきたという家柄だ。

建物は、江戸時代の安永から寛政の時期(1772～1880)に再建された勝興寺本堂(伏木の余った木材を利用したと伝えられている。間口・奥行きともに約18メートルあり、建坪

も443平方メートルありたいへん大きな民家だ。

屋根は茅葺きの主屋の背面いっばいに切妻・柿葺きのツノをつけ、さらにその三方が茅葺きという、とても珍しい形。屋内は前半分に広間やハシラ(土間)、座敷、仏間などがあり、後ろ半分に台所や茶の間、寝室などがある間取りとなっている。太い梁、広い土間、多くの部屋など、当時の姿をうかがわせる豪壮なたたずまいは圧巻だ。



武田家住宅 / 高岡市太田4258 0766-44-0724
 ●9:00～16:30 ●火曜日(祝日の場合は翌日)
 ●大人210円、中学生以下無料
 ●JR雨晴駅から徒歩約20分 ●能越自動車道高岡北ICから約20分



雨晴海岸

守山城跡

マップNo. 13

越中高岡を一望 地の利をいかした山城

高岡市の北部を蛇行して流れる小矢部川の左岸、二上山に築かれた守山城。山の形や地名から二上城、海老坂城ともいわれ、「越中三大山城」の一つとされている。

地形をたくみに利用した山城で、山上からは高岡市内や射水平野一帯をはじめ、水路の要所でもあった小矢部川や、その河口の港町伏木を一望でき、越中を政治・物流など色々な面から統治するために、重要な場所であった。

築城は古く、南北朝時代にまでさかのぼる。1335

2年(観応3年)に桃井氏の拠点となっており、南北朝期後半には越中守護の斯波義将が居城し、後に神保氏が座をしめた。1585年(天正13年)には前田利長が入城し、1597年(慶長2年)まで在城していた。山頂の本丸跡は千畳敷とよばれ、一角には石垣が残されており、当時の面影を今に伝えている。



守山城跡 / 高岡市東海老坂
 ●能越自動車道高岡北ICから約20分

大伴家持

「万葉集」は、世界に誇る文化遺産。その編集の

かなめとなったのが大伴家持。家持は746年(天平18年)に、28歳の若さで国司として越中の国府に赴任。その任期中に多くの歌を残し、中央の文化の香りを広めた。

馬並めていざうら行かな淡路の清き磯廻に寄する波見に

ものゝの八十乙女らがくみまがふ寺井の上のかたかこの花



二上山の大伴家持像

山町筋

マップNo. 14

土蔵造りの家並みが続く 高岡商人の町

前田利長公が城下町として開き、廃城後には高岡の発展を支えた商人の町。今も開町時の基本的な町割りをとどめており、1900年(明治33年)の大火の後、防火のために建てられた堅牢な土蔵造りの町家が旧北陸道にそって軒を連ねている。

各町家は、伝統的な土蔵造りに洋風建築の工法を組み合わせた独特の意匠で建てられており、東日本の豪壮な外部構造と西日本の繊細な内部構造が融合した建築方法が見どころとなっている。

山町筋／高岡市木舟町外



マップNo. 15

菅野家の住宅

山町筋の代表的な土蔵造りの住まい

主屋、土蔵ともに明治の高岡大火の直後に建てられた土蔵造りの建物。大火の教訓をいかし、念入りの防火の工夫が取り入れられている。

様式は豪壮な切妻造二階建平入で、外観は黒漆喰仕上げの重厚な雰囲気を持たせている。鉄柱、鉄枠、石柱の使用や、正面庇の天井にある鍍絵など質の高い意匠が見られ、内部は数奇屋風の華麗で繊細な構造に仕立てられている。

菅野家住宅／高岡市木舟町36
 ●0766-22-3078●9:30～16:00
 ●火曜日●大人200円、中学生以下無料(資料館との共通券300円)
 ●JR高岡駅から徒歩約10分●能越自動車道高岡ICから約10分



筏井家住宅

マップNo. 16

1903年(明治36)の建築。様式は切妻造棧瓦葺き2階建て平入。規模が桁行が約11.7メートル、梁間が約13.5メートルの黒漆喰仕上げの土蔵造りとなっている。

重々しい観音開きの土扉や屋内の意匠に特徴がある。塗り壁による防火構造、当時の洋風の構造・意匠を導入した質の高い建造物だ。



筏井家住宅／高岡市木舟町17

菅野家正面のひさし回り。洋風の鍍物鉄柱やランプ吊りの漆喰の鍍絵は、見ごたえがある



中庭を望む菅野家の本間。屋久杉による天井や鮮やかな赤壁が目を引く



旧室崎家住宅 (高岡市土蔵造りのまち資料館)

マップNo. 17

旧室崎家住宅(高岡市土蔵造りのまち資料館)／高岡市小馬出町26-1
 ●0766-25-5223●9:00～16:30●火曜日
 ●大人200円、小中学生無料(菅野家との共通券300円)
 ●JR高岡駅から徒歩約10分●能越自動車道高岡ICから約10分

明治の高岡大火直後の建築。黒漆喰が施された重厚な外観、そして外観とは対照的に繊細巧緻な数奇屋風座敷の取り合わせが面白い。

「高岡市土蔵造りのまち資料館」として公開され、室内には山町筋に関する古図や建築部材などが展示されている。高岡御車山の解説や全国の歴史的町並みも紹介されている。



高岡市土蔵造りのまち資料館

山町筋の歴史と魅力にふれる 土蔵造りの資料館

山町筋で主屋内部が見られる唯一の土蔵造りの家が旧室崎家だ。その住まいを利用して、山町筋の土蔵造りや高岡の町建ての歴史、高岡御車山などについて、さまざまな資料が紹介されている。

建物自体が貴重な資料で、山町筋の土蔵造りの特徴や魅力ポイントがよく分かるので、建築ファンならずとも必見もの。



佐野家住宅(主屋)

マップNo. 18

明治の高岡大火直後に再建され、主屋は桁行約12・6メートル、梁間約9メートルの規模を誇る大型の町家建築である。

2階は大壁の黒漆喰塗りとし、銅板張の防火戸が取り付けられている。また細部にはお洒落な洋風デザインも取り入れられている。



佐野家住宅/高岡市御馬出町68

井波屋仏壇店

マップNo. 19

明治の先端をいくハイカラ建築

1905年(明治38年)の建築で、間口約5・4メートル、奥行約11・7メートルの比較的小ぶりの店舗。内部の多くが土間となっており、2階にはテラスが設けられ、中央部は吹き抜けになっている。店舗の正面は、鋳物製の唐草模様で飾られた大きなアーチ窓が並ぶ独特のデザイン。まさに明治のハイカラな建築様式だ。



井波屋仏壇店/高岡市守山町37-1

山町筋の天神様祭り・ひなまつり

土蔵の町を雅に彩る天神様とおひな様



土蔵造りの町・山町筋では、1月と3月に民家や商店に天神様やひな人形を飾るイベントがくり広げられる。1月中旬に行われる「山町筋の天神様祭り」では、山町筋の旧家や県内各地から集められた天神様の掛け軸や人形が飾られる。加賀藩前田氏の祖先が菅原道真公という言い伝えもあつて富山県内では広く天神様や菅原道真公を祀る風習が根付いていて、山町筋でも天保年間や明治期の天神様が伝えられている。木彫りのものや高岡ならではの銅器で作られたものなど、いろんなたたずまい、表情の天神様に会える。

3月中旬の「山町筋のひなまつり」では、江戸時代から商人の町として栄えた山町筋の住民が受け継いできた人形が、旧家の座敷や商店のショーウィンドーを彩る。期間中は、御殿飾りが印象的なひな人形や、土人形、木目込み人形など多彩な逸品が勢揃い。細部まで作り込まれた衣装が華やかな明治時代のひな人形などを眺めつつ、山町筋の歴史に想いをさせてみてはいかが。



高岡関野神社

マップNo. 20

利長も祀られている高岡城下の鎮守

高岡駅から数百メートル、末広町にある神社。高岡城の枳形堀(ますがたぼり)だったあたりにあるので『高の宮』とも呼ばれ、高岡市民に親しまれている。

関野三社(関野神社・高岡神社・加久彌神社)それぞれの祭神が、各3棟の本殿に祀られている。

前田利長の高岡開町にあたって遷座し、1612年(慶長17年)に高岡城下の鎮守となった神社で、利長

が亡くなった後は利長を神霊として祀っている。文化年間(1804年)〜1818年)に現在の場所に移転した。

社殿の一部は江戸時代の建築がそのまま保存されていて、当時の面影にふれることができる。また、5月1日には、春の例祭『高岡御車山祭』が行われ、太閤秀吉から前田家が拝領した御車山が山町を巡行する。

五福町神明社本殿

マップNo. 21

もとは前田利長の御廟守として建てられた寺院の本殿だったが、神明宮となった。建物の様式は入母屋造平入の棧瓦葺木造で江戸時代初期の建造。正面約5・4メートル、側面約3・6メートルの大きさがある。



五福町神明社本殿/高岡市五福町12-50
●万葉線広小路駅下車徒歩約10分

清都酒造場主屋

マップNo. 22



旧水見街道沿いに建つ商家で、主屋は1887年(明治20年)頃の建設とされている。1900年(明治33年)の高岡大火以前に建てられた明治期の町屋建築の構造形式を知ることができる。貴重な和風建築である。

主屋は木造2階建の切妻造りで、平入の棧瓦葺建物である。酒屋らしい風格のある意匠となっている。室内には漆喰の建具が用いられ、落ち着いた雰囲気醸し出されている。

高峰公園

高岡生まれの偉大な科学者

高峰讓吉の生誕地

1854年(嘉永7年)〜1922年(大正11年)



高峰公園/高岡市御馬出町51-1

高岡ゆかりの世界的偉人のひとり、高峰讓吉。その生家跡地が公園となつて、彼の業績を今に伝えている。

讓吉は、高岡市御馬出町に加賀藩典医・高峰精二と幸子(旧姓津田・現在の横田町)の長男として誕生。アドレナリンの結晶化と消化酵素・タカジアスターゼの創製で、世界の医学・薬学に大きく貢献し、科学振興や日米親善に尽くした。

また、讓吉は「急な川の多い富山県は、電源開発に最適の地である。発電所を造つて、その電気を利用して高岡で、アルミニウムの製造を行つたらどうだろうか。そうすれば伝統的な鋳物の技術も生きるはずである」(1918年(大正7年)5月『高岡新報』より要約)と提案。世界を舞台に活躍してもなお、生まれ故郷・高岡の伝統と未来を見つめ続けていたことがうかがえる。



高岡関野神社/高岡市末広町9-56 ●0766-25-5223
●JR高岡駅から徒歩約10分 ●能越自動車道高岡ICから約15分

清都酒造場主屋/高岡市京町12-12
●万葉線広小路駅下車徒歩約10分

金屋町

マップNo. 23

千本格子の町並みが美しい 高岡鑄物発祥の地

前田利長が、高岡の町を開くにあたって、城下町の繁栄のための産業を興そうと、砺波郡西部金屋（現在の高岡市）から7人の鑄物師を呼び寄せ、住まわせたのが金屋町のはじまり。全国に知られる高岡鑄物発祥の地で、今もなお鑄物に携わる家が多い。繁栄時の雰囲気伝える昔ながらの千本格子造の家並みや石畳などの町並みを保存している。



さまのこ
さまのことは、高岡の方言で千本格子のこと。繊細な千本格子を作るには高い技術が必要で、光と風を取りこむ美しいさまのこの町並み風景はまさに日本の伝統的情緒と言える。

金屋町／高岡市金屋
●JR高岡駅から徒歩約20分●能越自動車道高岡ICから約10分



旧南部鑄造所／高岡市金屋本町3-45
●JR高岡駅から徒歩約20分●能越自動車道高岡ICから約10分



旧南部鑄造所 (キュポラ・煙突)

金屋町の一面に残る旧南部鑄造所のキュポラ（鉄製）および煙突（レンガと石造）は1924年（大正13年）に建造されたもの。高岡銅器の製造に大いに活躍した高岡ならではの遺産として、近代の鑄物の歴史を今に伝えている。

有磯正八幡宮

マップNo. 25

銅器の町に鎮座する八幡宮

高岡築城の際に、有磯宮と横田八幡宮が合祀されてできた神社。もともとは有磯宮として有磯海の守護神が雨晴海岸付近に鎮座していたのだが、日本海の荒波による浸食が激しいため、志貴野の山に移動。さらにその後、横田村（現在の高岡市横田地区）に遷座し、慶長年間（1596～1615年）に横田八幡宮と合祀された。

境内を囲む石垣は、加賀前田家が奉納したものと伝えられている。本殿、釣殿、拝殿、幣殿からなっており、本殿は明治16年（1883年）、名工・松井角平の手によるもの。本殿は入母屋造の屋根の前後に銅板葺の千鳥破風が付く。釣殿は角柱の間を部戸とし、内側に御簾がかけられる。拝殿は板戸を建て込み、幣殿は左右に翼室が張り出す。伝統的な建築技術の妙が発揮された見応えのある神社である。



有磯正八幡宮／高岡市横田町3-1-1

金屋緑地公園

石畳の町並みに潤いをひろげる水と緑の憩いの場



金屋緑地公園／高岡市金屋町156-1

高岡市 鑄物資料館

高岡の伝統産業・鑄物の歴史を今に伝える石畳の町の資料館。江戸末期には、国内はもちろんのこと、海外にまで輸出されるほどになった高岡の鑄物産業。その拠点・金屋町の400年におよぶ鑄物産業の歴史をはじめ、古文書や初期の技術伝えるたくさんの鑄物製品や道具など、興味深い資料が展示されている。高岡鑄物発祥の地に息づく鑄物師たちの、情熱、心意気までもが伝わってくるような資料館である。



高岡市鑄物資料館／高岡市金屋町1-5●0766-28-6088
●9:00～16:30●火曜日●大人210円、小・中学生無料
●JR高岡駅から徒歩約20分●能越自動車道高岡ICから約10分

金屋町の石畳の通りをちよつと横に入ると、大きな噴水のある金屋緑地公園がある。利長をしのび、前田家の家紋「梅鉢」をかたどって作られた潤い空間である。町屋の千本格子をイメージした大きな噴水が、心をなごませてくれる。夜にはライトアップされ、水のカーテンがとも色あざやかで、昼間とはひと味もふた味も違った雰囲気を楽しめる。鑄物工場跡地に作られ

た公園内には、高岡鑄物発祥の碑をはじめ、弥栄節（やがえふ）の銅像、二宮金次郎の銅像などがあり、さすが鑄物の町の公園と思わせる風情。ちなみに高岡は、二宮金次郎の銅像の生産シェア9割を誇っていた時期もある。園内には手謝野寛（鉄幹）・晶子夫妻の歌碑も建っていて、金屋町の町並み歩きにくわえて文学散歩もできる憩いのエリアだ。

いもの師はたのしがるべし
みずから釜釜ひとつにも出ださんとす 寛
われ入りて鍋作りする爐にあるを 晶子
夕日と思ふひろきかな屋に



木舟城跡／高岡市福岡町木舟650外
 ●JR高岡駅から右動行バス本領バス停下車徒歩20分
 ●能越自動車道福岡ICから車で約5分

北陸道のかなめとして歴史の波にもまれた城。木舟城は、高岡市福岡町の南端に築かれた戦国時代の城。本丸跡は小高い丘となつて残されている。中世以来、北陸道をおさえる要衝であった。源平合戦で活躍した石黒太郎光弘が、平安時代の末に築城したとされる。石黒成綱の代になると最も力をつけ、砺波二帯に勢力を広げた。その頃には木舟城も備えが充実されて、城下町も発展。北陸道のかなめとして、にぎわいをみせたという。石黒成綱は、当初は上杉謙信に属していたが、1578年(天正6年)に謙

北陸道のかなめとして歴史の波にもまれた城

木舟城跡

マップNo.
26



信が没してから織田信長に従い、上杉勢と敵対するようになった。しかし信長の意向にそぐわなかったとして成綱は殺されてしまう。

その後、佐々平左衛門が、さらに後には前田利家の弟・秀継が居城した。

1585年(天正13年)11月29日、天正の大地震で城が崩壊、その後廃城となった。

今は田んぼの中に主郭にあたる部分の一部が残っており、当時の盛衰を今に伝えている。

雅楽の館

福岡地区に、雅楽(高岡市指定無形文化財)が伝えられたのは、江戸時代末期のこと。その精神と技は今もなお大切に継承されており、この館には、「雅楽」の楽器や装束が保存展示されている。館自体は、1931年(昭和6年)に建てられた商家・滝邸を利用したもので、その趣のある建物の風情も見どころ。



雅楽の館／高岡市福岡町福岡新1208
 ●0766-64-0390 ●9:30~16:30
 ●月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始●無料
 ●JR福岡駅から徒歩約5分
 ●能越自動車道福岡ICから約5分

佐伯家

佐伯家は、福岡地区葺島にある、江戸時代中期の豪農屋敷だ。屋敷の広さはなんと3,000平方メートルも。江戸期の、広間型民家の典型的な形式を今に伝えている。周囲に見事な屋敷林をめぐらした敷地内には、門や離れ座敷、蔵、作業場などが建ち並んでいる。

佐伯家は約200石あまりの高持農家で、古文書も数多く残されており、建具や柱、梁などから往時の繁栄を感じとれる。



佐伯家／高岡市福岡町葺島313
 ●0766-20-1463(高岡市文化財課)
 ●無料(予約制) ●JR福岡駅から徒歩約15分
 ●能越自動車道福岡ICから約5分

高岡市まつりガイド

■高岡市ホームページ「ほっとホット高岡」
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/>
 ■(社)高岡市観光協会ホームページ
<http://www.takaoka.or.jp/>



高岡御車山祭

5月1日

高岡山町一帯 高岡市商業観光課 Tel0766-20-1301

高岡の伝統工芸の粋を集めた、豪華絢爛な七基の御車山が山町一帯を巡行します。富山県内での曳山行事の中でも、もっとも規模が大きく、全国の屋台を用いた祭礼行事の中でもひととき華やかな曳山です。



伏木曳山祭「けんかやま」

5月15日

伏木地内山町一帯 高岡市商業観光課 Tel0766-20-1301

昼は華やかな花山車、夜は勇壮な提灯山車に組み立てられます。勇ましい山鹿流出陣太鼓に囃され、約8トンの山車が激しくぶつかり合う「かっちゃ」は見ものです。市指定無形民俗文化財になっています。



御印祭

6月19日・20日

金屋町各町内 高岡市商業観光課 Tel0766-20-1301

高岡銅器の源流を開いた前田利長公への報恩感謝をこめ、鋳物発祥の地・金屋町でくり広げられるお祭りです。鋳物づくりの作業歌として歌い継がれてきた民謡弥栄節(やがえふ)の踊りが千本格子の町を流れます。



戸出七夕まつり

7月3日~7日

戸出市街地一円
 戸出七夕まつり実行委員会
 Tel0766-63-0792

旧街道として栄えた商店街を中心に、1,000本を超える大小の七夕飾り(華やか)に彩り、夏の訪れを告げます。高さ10メートルを超える七夕も、住民が協力し合って手作りするのが特徴。新・戸出七夕音頭「夢物語り」に乗って盛大に行われる町流しも見ものです。



中田かかし祭

9月19日~21日

中田商店街・中田公園・
 ショッピングセンター「アロー」
 中田かかし祭運営協議会
 Tel0766-36-0246

世相を反映した毎年力作の「かかし達」が、楽しいファンタジーの世界を繰り広げるお祭りです。かかし耐久レース、よさこい等、多彩なイベントも祭りを演出します。



福岡町 つくりもんまつり

9月23日・24日

福岡町市街地全域
 福岡町つくりもんまつり実行委員会 Tel0766-64-1426

全国に誇る300余年の奇祭。五穀豊穡を祝し、農作物、草木を主材としてつくる芸術作品を展示します。写真コンテストなど、さまざまなイベントも開催されます。

高岡へのアクセス

名古屋から 約2時間40分

高岡I.C.

↑ 能越自動車道 (13.7km)

小矢部・砺波JCT

↑ 東海北陸自動車道 (194.8km)

一宮JCT

↑ 名神高速 (8.3km)

小牧I.C.

大阪から 約4時間

高岡I.C.

↑ 能越自動車道 (13.7km)

小矢部・砺波JCT

↑ 北陸自動車道 (203.5km)

米原JCT

↑ 名神高速 (109.5km)

吹田I.C.

東京から 約5時間30分

高岡I.C.

↑ 能越自動車道 (13.7km)

小矢部・砺波JCT

↑ 北陸自動車道 (148.1km)

上越JCT

↑ 上信越自動車道 (205.6km)

藤岡JCT

↑ 関越自動車道 (78.6km)

練馬I.C.

北海道から 約2時間5分(飛行機)

高岡

↑ バス(40分)

富山空港

↑ 全日空(1時間25分)

新千歳空港

※この情報は平成20年5月現在で掲載しておりますので、実施の段階で一部変更となる場合があります。

□発行日 2008年6月13日
 □発行 「世界文化遺産をめざす高岡市民の会」(高岡商工会議所内)
 高岡市丸の内1-40 高岡商ビル4F
 □企画・編集・制作 北日本新聞社
 □デザイン SangaDesign センクエィティブスタジオ エトウデザイン事務所
 □表紙イラスト インセルスタジオ □協力 協和総商

□参考文献 富山大百科事典(上・下) 発行/北日本新聞社
 富山県の歴史散歩 富山県歴史教育研究会 発行/山川出版社
 一図録一 高岡の文化財 高岡市教育委員会
 郷土資料事典 富山県・観光と旅 人文社
 高岡観光ガイドブック 高岡市観光ガイドボランティアグループ「あいの風」

本誌に記載されている記事・写真などの無断掲載、複写、転載を禁じます。



高岡の素晴らしい文化遺産の数々・・・この機会にたずねてみませんか？

近世高岡の文化遺産群めぐりバス

運行期間 8月3日(日)までの土曜・日曜・祝日

好評
運行中!



お問い合わせ ●高岡市商業観光課 ☎0766-20-1301
●高岡市観光協会 ☎0766-20-1547

高岡ガイドマップ